

# オリンピック・パラリンピックを契機とした 「まちづくり」「ひとづくり」

総合政策局  
教育委員会

資料 2

## 課題・背景

「千葉市行動計画(まちづくり)」で示された「2020年の千葉市の姿」を目指すには、それを担う「ひとづくり」を進める必要がある。そのため、「ひとづくり」に関する取組みとして「千葉市オリンピック・パラリンピック教育実施方針」を策定し、具体的な事業を学校等で展開していくこととした。

＜千葉市オリンピック・パラリンピック教育を通じて目指すべき人間像＞

- ①スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人
- ②多様性を尊重し、共生社会実現に貢献できる人
- ③自ら学び行動できる国際感覚を備えた人

## 30年度までの取組み（令和元年度継続実施）

### 1 大会機運高揚事業

○学校給食「オリパラ応援メニュー」の実施



オリパラ応援メニュー

### 2 体力向上・健康づくり事業

○市立全小中学校の授業でパラスポーツを実施  
○小学校陸上大会にパラアスリートを招聘



小学校陸上大会パラアスリート招聘

### 3 多様性理解教育事業

○パラリンピック関連の教材を活用した道徳授業の充実



千葉市独自の道徳用教材

### 4 国際理解教育事業

○オリパラ英語教材を活用した外国語・外国語活動の充実



オリパラ英語教材での授業<sup>1</sup>

## 30年度までの取組みの成果と課題

### 【成果】(教職員のアンケートより)

#### ○パラスポーツ体験を通して

- ・運動の苦手な子どもも意欲的に参加でき、よりスポーツを好むようになった。
- ・障害者のスポーツという考えから、だれとでもできるスポーツという考え方に変わる子どもたちが増えた。

#### ○道徳、外国語の授業により

- ・障害の有無や国籍・文化等の多様性を理解し尊重する心が育まれた。
- ・千葉市民のアイデンティティを醸成するとともに、豊かな国際感覚が高められた。

### 【課題】(教職員のアンケートより)

#### ○パラスポーツ体験

- ・体育の学習のみならず、様々な教科と関連させること。
- ・パラスポーツ体験授業の中に、障害者アスリートとの交流を計画すること。
- ・学校だけの活動で終わりとせず、地域等に発信できるようにすること。

#### ○道徳、外国語の授業

- ・障害者や外国人等との交流など体験活動を関連させ、意欲や行動に結びつけていくこと。

## 令和元年度以降の取組みの方向性

○学校でのパラスポーツ体験等を生かし、校内のみならず、保護者、地域の方、障害のある方等とも交流を図り、多様性尊重、共生社会実現に向けた学びを深めていく。

○レガシーとしての「パラスポーツのさかなまち(障害のある人もない人も、スポーツを通してともに交流できるまち)づくり」に向けて、市長部局とより連携していく。

# 令和元年度以降の主な取組み(1)

## ◎各種教育に関する取組み(その1)

①

### オリンピック・パラリンピック応援作品の制作

(市立全小・中・特別支援学校で実施)

#### 令和元年度

- ・千葉市で開催されるパラリンピック競技大会に参加する選手を応援する作品を制作する。
- ・完成した作品をパラリンピック開催200日前(2/7)にJR千葉駅や市役所等に掲出し、市民全体の大会機運を醸成する。
- ・1校ずつ応援する競技と国を割り振り作品を制作する。

#### 2年度

- ・千葉市開催のパラリンピック競技を応援する。
- ・制作した作品を応援国の競技団体や大使館等を通じて選手に届ける。



観戦から作品のイメージをもつ



ポスターの作品例



のぼり旗の作品例

## 令和元年度以降の主な取組み(2)

### ◎各種教育に関する取組み(その2)

#### ② 競技用車いすを活用した授業実践

#### 令和元年度

- ・競技用車いす12台を1セットとし、全6セット(計72台)で巡回する。
- ・小学校37校、中学校13校で、車いすバスケットボールなどの競技用車いすを活用した授業を実施する。

#### 2年度

- ・小学校では各学区で、中学校では2学区で、12台ずつ巡回する。
- ・2年周期で、市立全小中学校に巡回していく。  
(2年度以降継続実施)



車いすの安全点検



車いす乗車体験



車いすバスケットボールの学習

## 令和元年度以降の主な取組み(3)

### ◎各種教育に関する取組み(その3)

	令和元年度	2年度
③ パラスポーツを通じた交流	<ul style="list-style-type: none"><li>・市立全小中学校の授業でパラスポーツを実施する。(30年度より継続)</li><li>・パラスポーツを通して、学んだこと、伝えたいことを保護者・地域に発信する。(7月現在 小中10校で実施予定)</li></ul>	<p>→</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・近隣校とのパラスポーツ交流を実施する。</li><li>・地域のパラスポーツイベントに積極的に参加できるようにする。</li></ul>



保護者と交流  
シッティングバレーボール体験



地域の方と交流  
パラスポーツの魅力を発信  
「なるほど！幕パラ2020」



パラアスリートと交流  
放課後子ども教室でのボッチャ体験

## 令和元年度以降の主な取組み(4)

### ◎各種教育に関する取組み(その4)

		令和元年度	2年度
④	特別支援学級におけるパラスポーツ体験の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級の活動でボッチャを実施する。</li> <li>・げんき交流会、げんきキャンプにおいてボッチャを実施する。</li> </ul>	<p>-----&gt;</p> ボッチャを通じた近隣校・地域との交流会を実施する。



学級内でのボッチャ体験



げんき交流会でのボッチャ大会



げんきキャンプでのボッチャ交流会

		令和元年度	2年度
⑤	学校連携観戦プログラムによるパラリンピック観戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校連携観戦チケットにより、千葉市立小中学校生のパラリンピック観戦について検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観戦に向けた事前学習を実施する。</li> <li>・パラリンピックを観戦をする。</li> <li>・事後学習を実施する。</li> </ul>

## 令和元年度以降の主な取組み(5)

### ◎市長部局との連携

	令和元年度	2年度
パラスポーツ等の観戦	シッティングバレー、フェンシング、テコンドー、ゴールボール、車いすラグビーの国際大会等を小学校56校、中学校7校が観戦予定	共生社会の実現に向け、東京2020大会以降も引き続き実施予定
障害者アスリートによる学校訪問	小・中学校47校で実施し、市立の全小・中学校168校で実施完了予定	
パラスポーツフェスタちばの開催	ゴールボール対抗戦に新宿小が出場	
大学との連携によるパラスポーツ講座	9大学で実施予定	
福祉講話の実施	小学校40校で実施予定	



パラスポーツ大会の観戦



障害者アスリートの学校訪問



福祉講話でのガイドウォーク体験

# 令和元年度以降の主な取組み(6)

## ◎ボランティアに関する取組み

### 令和元年度

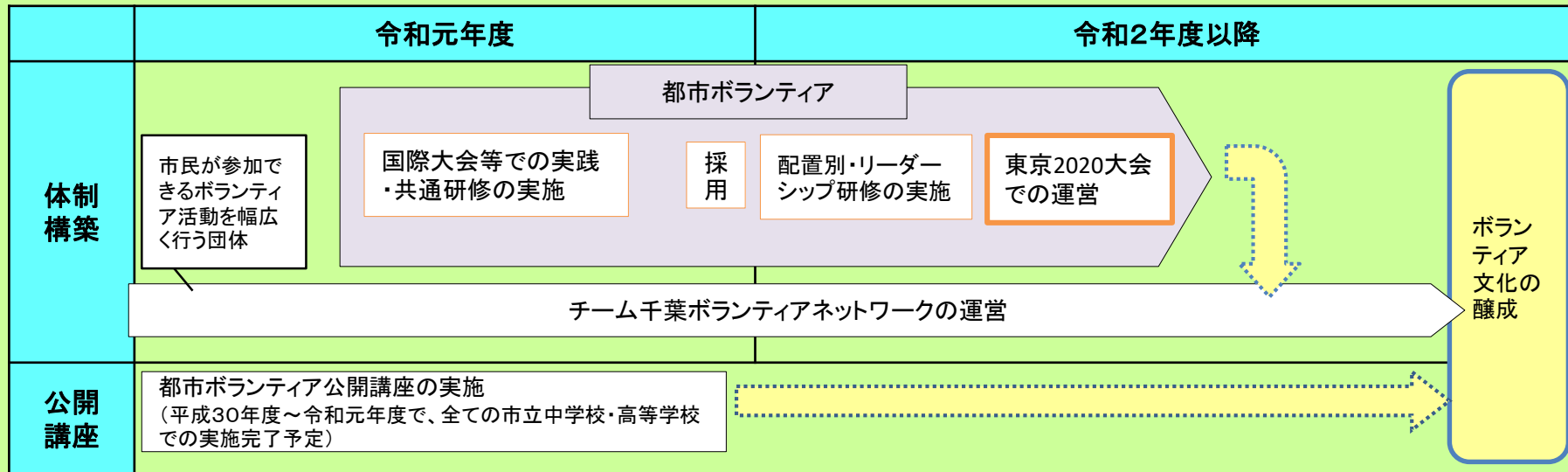
#### ■都市ボランティアの育成・実践

東京2020大会時のおもてなしに向け、活動に必要な研修・国際大会等での実践を行う。また、都市ボランティア公開講座において、都市ボランティアに関する説明や障害者サポート体験等を通じて、生徒たちのボランティアや障害者に対する理解を深める。

### 令和2年度以降

#### ■都市ボランティアの育成・運営・レガシー化

東京2020大会時のおもてなしに向け、より具体的な研修を行うとともに、大会期間中の都市ボランティア活動の運営を行う。また、チーム千葉ボランティアネットワークへの参加を促進し、大会終了後のレガシーとして、本市におけるボランティア文化の醸成に引き継がれることを目指す。



#### ■国際交流ボランティア育成のための講座等を開催

- ・通訳ボランティア・フォローアップ講座の開催
- ・ボランティアが積極的・自立的に活動を展開できるように、中心となるリーダーを育成するため、リーダー会議を開催

#### ■国際交流ボランティア育成のための講座等を開催

- ・令和元年度に引き続き、関係講座を実施予定



## 令和元年度以降の主な取組み(7)

### ◎「まちづくり」に関する取組み

#### 令和元年度

#### ■ 競技会場周辺のバリアフリー整備

#### 【海浜幕張駅前広場】

- ・エレベーター、エスカレーター等 新設



#### 【駅から会場までの歩道】

- ・交差点部の歩道の段差解消
- ・視覚障害者誘導用ブロックの敷設替え

